

ソフトボール神奈川

No. 91

令和 6 (2024)年 3月13日発行

<https://www.kanagawaken-softballkyoukai.com>

神奈川県ソフトボール協会
広報委員会
〒242-0001
神奈川県大和市下鶴間 1774
高下コーポ 102
Tel・Fax: 046(272)6600

コロナ禍を乗り越え更なる進化を！

神奈川県ソフトボール協会
理事長 鈴木利夫



2020年1月15日に初めて国内で感染が確認された新型コロナウイルス拡大から四年がたった昨年5月8日から、感染法上の位置づけが2類相当から5類感染症に移行し、基本的感染対策が緩和され、個人の判断が基本となりました。以後、声出し応援等通常の大会の風景が戻り各種大会が開催されました。

また、記録的な猛暑の中での熱中症対策として、「給水タイム」の導入といった安全対策を考えながらのコンデショニングが考慮されるなど、運営に携わるスタッフの方々の臨機応変な対応に心強く「チーム神奈川」を感じた年でもありました。

大会もさることながら、普及活動にも力を入れ、トップアスリートによる出前授業やソフトボール教室、審判員・記録員の資格認定会も開催され、各委員会活動もほぼ終了しましたことに感謝申し上げます。

令和5年度新たな取組として、県立スポーツセンターによる「令和5年度タレント発掘事業(スポーツ能力測定会・スポーツ競技体験会)」で選考された県内小学校5年生28名を対象としたソフトボールの体験に山田恵里選手他の講師を派遣し、ソフトボールの楽しさを体感してもらうなど、選ばれた子供たちの中から一人でも多くのソフトボール選手の発掘にも一役を担うこともできました。

令和6年度は、三年目を迎える「JD LEAGUE 2024」第2節が4月20日・21日に茅ヶ崎公園野球場、第4節が5月10日・11日・12日にサーティーフォー保土ヶ谷球場、第12節が10月18日・19日・20日に中栄信金スタジアム秦野で予定され、日立サンディーバが地区優勝、そしてリーグ優勝を狙って熱い戦いに挑戦します。また、今年度から金曜ナイター(横浜大会・秦野大会)が導入され、今までとは違った雰囲気での観戦が楽しめると思います。プレーオフは昨年同様11月9日・10日に川崎市等々力球場で予定されています。リーグ開催に当たり、JDリーグ機構・日本ソフトボール協会・加盟チームが三位一体となり、更なる進化を目標に取り組みられると思います。また「日本女子リーグ」には花王コスメ小田原フェニックス・厚木SCが加盟し、地元を離れての戦いを展開します。

今年の日米対抗戦は、昨年同様第3戦で7月8日横浜スタジアムでの開催が予定されています。前回以上の熱い戦いに期待し、横浜スタジアムに足を運び『SOFT JAPAN』を応援しましょう。

三月には幾つかの全国大会が予定され、出場チームには大会に向け準備を整えて臨んで欲しいと考えます。

令和6年度の大会も、3月17日の全日本クラブ選手権大会関東地区予選会県予選をかわきりに、順次予選会の開催が予定されています。各チームとも大会に向けコンディションを整え、更なる進化を目標に実りある一年になって欲しいと願っています。

感染症対策は新型コロナ、インフルエンザ等終わりは無いと考えますので、日頃の感染防止対策は引き続き取り組み、新年度の行事が皆様方のご支援、ご協力のもと実施できますことを切にお願い申し上げます。

神奈川県勢の活躍



第17回東日本ミズノ杯実年ソフトボール大会 1位ブロック優勝:大和ファルコン(15年ぶり2回目)

大和ファルコン実年監督 矢口 和広

2023年は、第32回全日本実年ソフトボール大会神奈川県予選決勝で敗れてしまったものの、その悔しさを晴らすべく、第17回東日本ミズノ杯実年ソフトボール大会において、15年ぶり2回目の優勝を成し遂げることができました。神奈川県並びに大和市のソフトボール協会の皆様方に深く感謝申し上げます。来年もチーム一同、良い成績を収められるよう、精進して参りたいと思っております。今後ともご支援・ご指導賜りますよう、宜しくお願い致します。



《各種大会結果》

※神奈川県ソフトボール協会、関東ソフトボール協会、日本ソフトボール協会ホームページを参考にしました。
※開催期日については、荒天による延期のため、変更になっているものもあります。

【令和5年度】※下半期(10月～2月実施)の結果

【県大会】 ※種別順、優勝チームのみ掲載

[男子]

- ・第25回神奈川県秋季実年ソフトボール大会
(10月1日・8日、大和市) [6チーム]
大和ファルコン
- ・第13回神奈川県秋季男子オープンソフトボール大会
(10月22日・29日、厚木市ほか) [6チーム]
国立印刷局ソフトボールクラブ
- ・第26回神奈川県秋季壮年ソフトボール大会
(10月22日・29日、綾瀬市ほか) [11チーム]
大和ファルコン
- ・第6回神奈川県総合男子強化試合
(2月4日、小田原市)
※雨天のため中止

[シニア連盟]

- ・第62回神奈川県シニアソフトボール連盟秋季大会
[シニア1部] (10月22日～11月23日、愛甲郡ほか)
シニア平塚クラブ [16チーム]
[シニア2部] (10月29日～11月23日、大和市ほか)
若葉台マスターズ [16チーム]
[ハイシニア] (9月23日～11月11日、横浜市ほか)
横浜マイティーズ [16チーム]
[スーパーシニア] (10月19日～11月14日、横浜市)
大和クラブ [14チーム]
[ゴールドシニア] (9月30日・11月21日、綾瀬市ほか)
ゴールド泉マックス [8チーム]
- ・かながわシニアスポーツフェスタ2023
(11月12日・19日、厚木市) [7チーム]
シニア厚木クラブ

[家庭婦人連盟]

- ・第24回ダイヤモンド大会
(9月17日、平塚市) [7チーム]
リバーズ
- ・令和5年度神奈川県家庭婦人秋季大会
(9月24日～10月29日、県内各所) [34チーム]
ライナーズ
- ・家庭婦人ソフトボール連盟 エルダー大会
(11月23日、厚木市) [16チーム]
[#1グラウンド] 松ちゃんず
[#2グラウンド] ドリームス
[#3グラウンド] 横須賀コスモス
[#4グラウンド] さくらんぼ
- ・第16回レディース秋季大会
(12月3日、小田原市) [10チーム]
LNS ☆

[高等学校体育連盟]

- ・神奈川県高等学校秋季新人ソフトボール大会
兼 第42回全国高等学校ソフトボール選抜大会
神奈川県予選会
[男子] (11月3日・4日、小田原市)
光明学園相模原高等学校 [9チーム]
[女子] (10月29日～11月5日、厚木市ほか)
厚木商業・厚木東高等学校 [23チーム]
(男子・女子とも第42回全国高等学校選抜大会への出場権獲得)

[中学校体育連盟]

- ・神奈川県中学校男子・女子新人ソフトボール大会
[男子] ※予選会なし
青山学院横浜英和中学校
[女子] (11月12日～11月23日、相模原市ほか)
川崎市立宮前平中学校 [34チーム]
(男子・女子とも第34回関東中学校選抜大会への出場権獲得)

[少年少女連盟]

- ・第42回秋季神奈川県少年ソフトボール大会
(11月5日～23日、横須賀市) [33チーム]
富水ジャガーズ

[関東大会]

◇関東(地区)大会◇

- ・第28回関東シニアソフトボール大会
(10月7日・8日、栃木県宇都宮市) [16チーム]
愛甲ソフトボールクラブ(2回戦)
シニア厚木クラブ
- ・第23回関東スーパーシニアソフトボール大会
(10月7日・8日、群馬県桐生市) [16チーム]
横浜マイティーズ(2回戦)
オール弥生台
- ・第32回関東エルダーソフトボール大会
(10月14日・15日、栃木県大田原市) [8チーム]
ウインズ
茅ヶ崎ファミリーズ
- ・第27回関東エルデストソフトボール大会
(10月14日・15日、栃木県大田原市) [8チーム]
シーファイブ
- ・第22回すこやかハイエルデストソフトボール親善神奈川大会
(11月4日・5日、海老名市) [12チーム]
やまゆり(準優勝)

- ・第17回全日本春季小学生男子・女子ソフトボール大会
兼 第34回関東小学生選抜(男女)ソフトボール大会
神奈川県予選会
[男子] (11月25日～12月9日、厚木市) [8チーム]
優勝: 西湘
準優勝: 横須賀
(上記2チームは第17回全日本春季大会への出場権獲得)
第3位: 金沢スターズ
(上記チームは第34回関東選抜大会への出場権獲得)
第4位: 港北スターズ

・第54回関東大学ソフトボール選手権大会

- (11月4日～6日、千葉県成田市) [18チーム]
[男子の部] 東海大学
[女子の部] 東海大学(ベスト8)

[全日本大会]

- ・第22回全日本エルデストソフトボール大会
(10月21日～23日、群馬県高崎市) [46チーム]
藤沢リブロ(3回戦)
横浜マリノズ
- ・ねんりんピック愛顔のえひめ2023 ソフトボール交流大会
(10月29日～31日、愛媛県今治市) [60チーム]
[神奈川県] 大和ファルコン
[川崎市] 川崎シニアソフトボールクラブ
[横浜市] 横浜マイティーズ
[相模原市] 相模ファイブ
- ・第32回全日本実年ソフトボール大会
(11月23日～25日、高知県高知市ほか) [48チーム]
SBC 神奈川・小田原(3回戦)

下半期の「ニトリ JD LEAGUE 2023」、横浜と川崎にて。

◇地区シリーズ第12節 (10月14日～16日、保土ヶ谷球場)



『ニトリ JD LEAGUE 第12節』が、横浜市・保土ヶ谷球場にて行われた。10月14日(土)の第1日は好天の中2試合が予定通り行われたが、翌15日(日)は朝から雨天のため午後には雨が上がるのを待ってスタッフ総出でグラウンド整備を行った後、午後3時よりビックカメラ高崎対大垣ミナモトの1試合のみ行われ、残る1試合、日立サンディーバ対 NEC プラットフォームズの試合は翌16日(月)に延期された。

日立サンディーバは第1日(14日)にビックカメラ高崎と対戦。6回までで2対3と1点ビハインドの日立は、瀬戸際の7回裏、救援登板の大エース上野由岐子投手を攻め、2塁に出塁した山内早織選手をハンナ・フリッペン選手の安打で生還させ同点に追いつくと、2アウトから代打田内愛絵里選手の左中間を深々と破る2塁打で2点目を挙げ、劇的なサヨナラ勝利をものに、スタンドを埋めた大観衆の歓喜に包まれた。

第2日(16日)は NEC プラットフォームズレッドファルコンズと対戦。2回裏ハンナ・フリッペン選手の2ランホームランで先制すると、4回には山内早織選手のホームランや高瀬沙羅選手の2塁打、杉本莉緒選手の3塁打などで大量4点を取り、勝利を決定づけた。



(日立 田内選手のサヨナラ打)



(日立 女鹿田選手の好走塁)

3日間4試合の結果は以下の通り。

◎第1日(14日(土))

- ・大垣ミナモ 3 - 0 NEC プラットフォームズレッドファルコンズ
- ・日立サンディーバ 4 - 3 ビックカメラ高崎ビークイーン

◎第2日(15日(日))

- ・ビックカメラ高崎ビークイーン 9 - 0 大垣ミナモ

◎第3日(16日(月))

- ・日立サンディーバ 6 - 2 NEC プラットフォームズレッドファルコンズ

日立サンディーバは、第13節と14節にも連勝して、20勝9敗で地区シリーズを終え、東地区2位(首位ビックカメラ高崎と2勝差)でポストシーズンのプレーオフに進出し、ダイヤモンドシリーズ進出を目指すことになった。

◇ポストシーズン プレーオフ(11月11日・12日 川崎・等々力球場)



「ダイヤモンドシリーズ」進出をかけた「プレーオフ」は、初めて川崎市・等々力球場にて冷たい強風の吹く中に行われた。隣接する等々力陸上競技場では川崎フロンターレの試合も行われ一帯が盛り上がる中、フロンターレのマスコットキャラクター『フロンタ君』も応援に駆けつけ、始球式に参加した。

第1日(11日)の「ファーストステージ」では、東地区4位の「デンソーブライトペガサス」対西地区3位の「SG ホールディングスギヤラクシースターズ」が対戦。第2日(12日)の「セカンドステージ」では東地区2位の「日立サンディーバ」対東地区3位の「HONDA リヴェルタ」、前日勝利した「デンソー」対西地区2位の「豊田自動織機シャイニングベガ」の試合が行われた。

日立サンディーバは HONDA に3点を先取された直後の3回裏、1アウト満塁から山内早織選手のセンター前ヒットで杉本莉緒選手を生還させ1点を返すと、5回には出塁の2選手を藤森捺未選手のセンターオーバー2塁打で返し同点に追いつく。そのままタイブレークに突入し、8回 HONDA に大量5点を与え窮地に立たされるがその裏粘りをみせ、杉本選手の2ランホームラン、1アウト満塁から山内選手の三遊間ヒットと、ハンナ・フリッペン選手の犠牲フライで計4点を挙げ1点差に迫る。しかし反撃もそこまででゲームセット。惜しくも敗戦しダイヤモンドシリーズ進出は叶わなかったが、スタンドの大応援団からは、最後まであきらめず接戦を演じたナインに惜しみない拍手と歓声を送られていた。



(同点に追いつき歓喜にわく日立ベンチ)

◎第1日(11日(土))

- ・デンソーブライトペガサス 4 - 1 SG ホールディングスギヤラクシースターズ

◎第2日(12日(日))

- ・HONDA リヴェルタ 5 - 4 日立サンディーバ
- ・豊田自動織機シャイニングベガ 5 - 1 デンソーブライトペガサス

この結果、勝利した2チームが「ダイヤモンドシリーズ」に進出し、HONDA は東地区1位のビックカメラ高崎と、豊田自動織機は西地区1位のトヨタと1回戦を戦うことになった。

JD LEAGUE2023 を終え、年間の個人表彰として、日立サンディーバチームからは『最多打点賞(26点)』に森山遥菜選手が、『ベストナイン』に(一塁手)森山遥菜選手、(外野手)山口みどり選手、(指名選手)山内早織選手が選出された。

◆『日本女子ソフトボールリーグ』県内チームの結果

◎サファイアセクション内結果

- ・花王コスメ小田原フェニックス(4位)、厚木 SC (5位)

◎各ブロック内順位決定節戦績

- ・Bブロック(プラチナ、サファイア各セクション3位、4位チーム計4チーム)順位リーグ
花王コスメ小田原フェニックス(4位)
- ・Cブロック(プラチナ、サファイア各セクション5位、6位チーム計4チーム)順位リーグ
厚木 SC (1位)

◎最終順位決定戦(プラチナ、サファイア両セクション全12チーム)結果

- ・花王コスメ小田原フェニックス(8位)、厚木 SC (9位)

「令和5年度神奈川県ソフトボール協会新年会」盛大に開催

令和6年1月13日(土)、「令和5年度神奈川県ソフトボール協会新年会」が開催された。

会に先立ち、12時より鶴岡八幡宮にて約10名の役員・理事による昇殿参拝で、令和6年の協会の繁栄・安全祈願の祈祷が行われた。

鶴が岡会館に場所を移して14時から始まった新年会には、県内各支部や連盟などから92名が参加。牧島かれん副会長の開会のことばに続き、城田保会長、鈴木利夫理事長のあいさつ、松尾崇鎌倉市長の歓迎あいさつのもと、清田一正副会長による乾杯で開始された。懇談のなか、あちこちのテーブルでは盃を交わしたり、写真を撮りあったり、楽しく和やかな風景が見られた。その後、各支部・連盟ごとに紹介とあいさつがあり、最後に松山玲子副会長のあいさつでお開きとなった。



令和5年度各種表彰 受賞されたみなさん

(敬称略・順不同)

1. 令和5年度神奈川県スポーツ協会 功労者・スポーツ優秀選手表彰

1) スポーツ功労者表彰: 桑名和美

2) スポーツ優秀選手表彰(国際大会優秀成績・個人):

①坂本結愛(日立製作所、第13回アジアカップ・第19回アジア競技会)

②古川ひとみ(厚木商業高等学校、第19回 U-18 アジアカップ)

③高橋理央(同志社大学、第8回男子 U-18 アジアカップ、第14回男子 U-18 ワールドカップ)

2. (公財)日本ソフトボール協会表彰

1) 終身審判員:

佐藤宗吾、浜端邦子(以上海老名)、廣瀬正春、牧内伸二、清水吾悦(以上横浜)、西澤春直、小原一男(以上大和)、加藤泰男(相模原)、望月 有(南足柄)

2) 終身記録員:

廣瀬正春(横浜)、杉崎則子(大和)

★なお、県協会での表彰式は後日行われます。みなさん今後ますますのご活躍をお祈りします。

「令和5年度 神奈川県審判員・記録員伝達講習会」開かれる

令和6年2月25日(日)、綾瀬市立寺尾小学校とアヤセスポーツセンターにて、「令和5年度神奈川県審判員・記録員伝達講習会」が県内より77名の参加で行われた。最初に合同でルール改正などについて確認、その後審判員と記録員、別会場で新ルールに伴う変更点や対処の仕方・記帳の仕方、基本動作の再確認などを行った。当日は悪天候のため、屋内に場所を移したため、審判員は若干動きにくい中であつたが、各塁での動きや球審としての様々なケースに対する処置等、念入りに再確認を行った。



公認審判員・公式記録員、多くの仲間が増えました。

(敬称略・順不同)

【第1種公認審判員】 12月9・10日 群馬県前橋市にて
高平紀彦、小城敏章(以上横浜)

【第2種公認審判員】 11月23日 小田原市、12月17日 東京都江東区、にて
井山忠男、芳賀 修(以上相模原)、矢ヶ崎勝正(茅ヶ崎)、深田英治(鎌倉)、渡辺茂樹、柿崎 誠、
山川昌一、佐藤秀幸、木村伸行、宮部順平、木村忠一(以上横浜)、片倉将亮、秋澤智信(以上横須賀)、
小宮恵美(寒川)、横山 綜(小田原)、小野謙一(横浜)

【第3種公認審判員】 12月3日 横浜市、1月21日 厚木市、2月3日 相模原市、にて
三浦弘明、小川走奈、松本香織、神原尚彦、篠原明人、黒澤千春、川村昌平、蒲谷雄己、久富純一、
田熊 徹、蔵内政之、松岡みちる、高吉 洋、坂井善雄、鈴木啓史(以上横浜)、今宮弘二、内村数則、
南 雄盛、永田 宏、宮下将美(以上川崎)、綾部賢二、石黒達也、江口竜太、越智敏朗、加藤一行、
加藤啓之、糞島唯士、小島 健、小宮流星、桜井博章、佐藤昌浩、高橋主浩、竹内 亮、檜原章義、
原 康介、平間孝太郎、船津慎一、三上益広、村瀬元宏、元井 久、吉井光明(以上厚木)、
奥田真沙斗(鎌倉)、坂本英幸、竹内佳己(以上横須賀)、澁谷 梓、須藤康公(以上秦野)、岩間晴光
(横浜)、大石英樹(川崎)、伊藤正明、小野 武、永嶋啓正、福田真広(以上茅ヶ崎)、泉 英明(小田
原)、大石康彦、朝倉圭吾(以上相模原)、櫻庭邦彦(大和)、鈴木利夫、横山 伸、市原夏子(以上海老名)

【第1種公式記録員】 12月9・10日 海老名市にて
佐野川聡史(川崎)、尾形恭子、長岡宜徳、八木京子、小澤美紀、村山明美、猪熊雄志、齋藤由美(以上
横浜)、磯部英子(鎌倉)、堀川 恵、泉 亜矢(以上藤沢)、湯川里枝(逗子)、大塚祐美(茅ヶ崎)、
小宮恵美(寒川)、雪本 舞(秦野)、藤吉世子、藤吉二三夫(以上厚木)、松本信男(相模原)

【第2種公式記録員】 12月16日 大和市にて
小林美智代、梅谷佳史、武田和弘、篠崎奈緒美、佐藤広明、遠藤弓子(以上横浜)、武田祐二(鎌倉)、
山本幸裕(綾瀬)、井手みさ子(相模原)

【第3種公式記録員】 12月16日 大和市にて
大貫ひとみ、前田まい花、中川真佐美、斎藤靖彦(以上川崎)、黒澤千春、杉浦金男、日野敬子、
柳田幸治、行木正浩、木村忠一、鈴木 肇(以上横浜)、根本浪江(横須賀)、藤井美潮(茅ヶ崎)、
渥美しほり、駒沢直美、近藤みわ登(以上厚木)、柿木隆正(横浜)、高橋啓介(海老名)、吉川 貢、
安部祥子、中野静子(以上相模原)、佐藤輝明(大和)、石川 恋、森 晴櫻(以上東海大学)、
森内まき子(横須賀)、依田はるか、桑原 滯、加藤愛理、山中まどか、平野夏琉(以上高校)
…お互いに切磋琢磨し、ともに頑張っていきましょう。

支部・連盟・委員会トピックス

横浜市ソフトボール協会

広報委員長 本橋 修

県協会技術委員会主催、横浜市技術委員会主管のソフトボール教室を、昨年末、12月10日(日)に、横浜市港南区の「さえずりの丘公園」で開催しました。教室には、小学生からシニアまで、例年より多い115人が参加し大盛況でした。参加者は投手部門、野手部門に分かれて指導者からレベルに合った指導を受け、有意義な体験を積むことができたと思います。ソフトボール教室などの事業を展開してソフトボールの底辺拡大を図ることが大事だと実感しました。

秦野市ソフトボール協会

副会長 野々山静香

1月19日午前に、秦野市立本町小学校5・6年生、午後に末広小学校6年生を対象に、日立サンディーバ(森山内野手、田内投手、唐牛外野手、平田外野手)を講師に迎え、出前授業ソフトボール教室を実施しました。選手たちの丁寧な指導のもと、ティーを使ったバッティングや、大谷翔平選手から学校へ寄贈されたグローブをつけてのキャッチボールなどで、こどもたちに「ソフトボール」の楽しさを感じてもらえた教室となりました。

横須賀ソフトボール協会

理事 宮川交立

令和5年度横須賀市スポーツ表彰式が、令和6年2月3日に行われました。ソフトボール関係は、少年「横須賀」の谷本正美監督が春・夏の全国大会合計11回優勝など評価で体育功労者、少年「横須賀」と中学女子「横須賀ゴールドウエーブ」がチームのスポーツ栄光章、小野愛果、川添楓選手は中学女子神奈川県選抜チーム選出で個人のスポーツ栄光章を受章しました。若い選手の活躍が、支部活動を盛り上げると期待しています。

相模原市ソフトボール協会

理事長 小金 優

2023年度は過去3年以上に亘るコロナ禍から5類移行となり、ようやくノーマスク・声出しのできる環境となった。全チームが集合する総合開会式から春・夏・秋大会と部門別リーグ戦を展開した。ただ、春から夏への天候不順と夏の暑さには大会を消化する上で大いに悩まされた。今年1月には全審判員を対象に自主トレーニングを含めた基本動作の確認を寒風吹きすさぶ中で行った。次年度に向け決意を新たにしている。

平塚市ソフトボール協会

理事長 佐藤宗夫

83歳の西村弘志審判員が平塚市スポーツ協会体育功労者表彰を受賞。

令和6年2月11日ホテルサンライフガーデンにおいて、平塚市長も出席し「令和5年度体育功労者の表彰式」が行われた。この表彰式には、平塚市ソフトボール協会から米村会長ほか副理事長2名が出席し、表彰式に立ち会った。今回の受賞者は3名であったが、ソフトボール協会からの受賞は平成20年以来15年振りの受賞である。西村審判員は昭和56年に審判資格を取得し、現在でも現役の審判員として活動している。最近では、昨年の11月に開催された第71回平塚市民総合体育大会ソフトボール競技の審判員として参加している。この長年の功績と活動に対し表彰を受けたものである。当協会としては、この受賞を機に引き続き、ソフトボール競技の振興と審判員個々の活動の励みにしていきたいと思う。



家庭婦人連盟

理事長 桑名和美

平素より家庭婦人連盟の大会運営にご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。コロナ禍を乗り越え日常を取り戻しつつありますが、近年選手不足とチーム数の減少は大きな課題となっております。打開策として、今年度より登録範囲の拡大を図りました。30～40年と連盟を支え続けてくれたベテラン選手と共に若いソフトボール女子達が新しい風を吹き込んでくれることを期待します。何事も真摯に取り組んでくれる理事達と「明るく・楽しく・美しく」は連盟のモットーです。今年も楽しんでいきましょう！！よろしく願いいたします。

シニア連盟

6年度新理事長 大谷照夫

2月10日コロナ禍による書面総会から4年振りの対面総会をザ・ウイングス海老名にて開催出来ました。その中、事業報告で春秋連盟大会に延べ参加140チーム全130試合を終えた報告がありました。連日記録的な猛暑が続いたシーズンでしたが無事に終える事が出来たと、今、振り返ると改めて安堵しました。3月下旬より今シーズンが始まります。参加チーム皆様と明るく・楽しい大会を作り上げていきましょう。

南足柄市ソフトボール協会

理事長 久保寺千広

「大谷選手のグローブが届いたよ」1月、勤務先の給食時間の全校放送。「学校にプレゼントが届きました。昼休みに運動場に集まってください。静かに待っていないとデコピンだよ！」大谷選手のグローブと気づき、運動場は大群衆。箱からそっとグローブを出すと大歓声上がる。これが3回続いた。朝礼台の上で手紙を読み上げた。最後の一行は大声を張り上げ、「野球しようぜ！」。大歓声と大拍手。その後は、触ったりはめたりと長蛇の列が続きました。

南足柄支部は、3月2日の評議員会をもって閉会しました。30年間、ありがとうございました。

大学ソフトボール連盟

理事長 高橋 強

今年一年を振り返って

今年は、神奈川県大学ソフトボールにおいて、私が監督を務める東海大学女子ソフトボール部が久しぶりに愛知県安城市で行われた第58回全日本大学女子ソフトボール選手権(通称インカレ)に出場したことは、監督冥利に尽きることでありました。結果的には大分代表の強豪である日本文理大学に0-11のスコアで敗戦したものの選手達は満足感で一杯でした。次年度も監督、選手一同全力でプレーして参りたいと思っております。

綾瀬市ソフトボール協会

理事長 岡本 進

今年度は綾瀬市協会登録チームが計14チームとなり、近隣の支部のチームにもリーグ戦に参加していただき試合を行って参りました。また、各種の県大会や、全日本総合女子関東予選も綾瀬スポーツ公園ソフトボール場などで行うことができました。綾瀬市でも他支部同様、審判員を始めスタッフが不足してきており、試合の実施には、他支部からのご協力をいただき、大変ありがとうございました。荒天や猛暑の中でも皆様にご支援いただきましたこと、御礼申し上げます。令和6年度も引き続きよろしくお願いいたします。

中学校体育連盟ソフトボール専門部

専門部長 大下内政樹

7月の神奈川県中学校総合体育大会では大和市立つきみ野中学校が2年連続4度目の優勝、11月の神奈川県中学校新人ソフトボール大会では川崎市立宮前平中学校が27年ぶり2度目の優勝を果たしました。普及・強化の面では日立サンディーバの皆様を講師にお迎えし講習会を実施しました。今年度も協会の皆様をはじめ、多くの方のご協力のもと無事に各事業を終えることができました。ありがとうございました。



(川崎市立宮前平中学校)

審判委員会

副委員長 富田 聡

令和5年12月15日(金)～17日(日)に静岡県天城ドームで開催されましたJD・日本女子ソフトボールリーグ担当審判員選考会に参加した5名全員が合格することが出来ました。

活躍を期待してください!!

真道貴子(小田原)、佐藤智代(逗子)

廣瀬正浩(横浜)、糸原 玲(相模原)

鶴田敬子(横浜)

技術委員会

委員長 齋藤清美

年4回行っている県協会主催のソフトボール教室が怪我もなく無事に終了しました。第1回は、横須賀市夏島グラウンドにて、71名の参加があり、厚木 SC の選手や東海大の学生のご協力で行われました。第2回は、相模原市立上溝中学校にて52名の参加があり、その中には遠く茨城県からの参加者もありました。第3回は、横浜市さえずりの丘公園にて115名という多くの参加があり、風もなく温かい気候の中、講習会が行われました。第4回最終日は、茅ヶ崎公園野球場にて45名の参加があり、日立サンディーバより長谷川鈴夏投手、杉本梨緒選手、唐牛彩名選手、OB の鈴木由香さん、小菌美希さん、東海大の栗原志帆コーチはじめ選手のみなさん、そして光明学園相模原高校の選手のみなさんのご協力もあり、盛り上がりのある教室となりました。

記録委員会

委員長 宮崎光司

令和5年度は、県大会は元より関東大会、JD リーグ等が前期に集中し、各大会の記録対応に追われて大忙しでした。雨天順延で予備日対応となる大会も多く、多くの記録員の協力でなんとか1年を乗り切れました。また、年末には1種、2種、3種認定会を開催し、1種18名、2種9名、3種30名が登録されました。令和6年度活躍を期待します。

放送委員会

委員長 山田よし子

放送委員会を発足して3年目に入ります。県協会並びに各支部協会、審判、記録の皆様方にご協力を仰ぎ昨年は全国、関東大会を務めさせていただきました。放送委員会としては、代表で来られたチームの皆さんにグラウンドで気持ちよくプレーしていただく事を第一と考え、今年度は放送原稿の見直しと少しでも分かりやすく正確に早くお伝え出来るようにして参ります。今年度もご協力の程宜しくお願い致します。引き続き放送員募集!!

普及委員会

委員長 久保寺千広

「未来の金の卵たちのために」

1月19日に海老名市立有馬小学校を訪問しました。また、11日は鎌倉市の深沢小学校の行事を協力しました。講師は日立サンディーバ。デモンストレーションでは、ロングティーの打球の鋭さや飛距離に大きな歓声が上がリ、チェンジアップは魔球のようでどよめきに変わりました。大谷選手から届いたばかりのグローブも使用していました。やっぱり子どもたちの笑顔を見られるのは最高ですね。



(鎌倉市立深沢小にて)



(海老名市立有馬小にて)



(等々力球場 JD LEAGUE プレーオフ スタッフのみなさん)

◎大会結果などについては、神奈川県ソフトボール協会のほか次のホームページもご参照ください。

・関東ソフトボール協会 <http://www.saitama-soft.com/2021kantsoftballassociation.html>

・(公財)日本ソフトボール協会 <http://www.softball.or.jp>

【編集後記】気候が安定した下半期、様々な県大会がほぼ予定どおり行われ、また猛威をふるってきた新型コロナも「終息」かと思われるほど、県内のソフトボール会場が賑わいを見せた。JD リーグ保土ヶ谷ラウンドでの日立サンディーバの活躍で球場全体が歓喜の渦に包まれ、初めて等々力球場でのプレーオフもあり、広報活動にも熱がこもった。またソフトボール教室やトップアスリートによる小学校訪問も実施回数が増え、「大谷グローブ」を早速使って楽しそうにキャッチボールを行う小学生達の笑顔を取材することができた。令和6年、パリオリンピックでは残念ながらソフトボールは見られないが、楽しくソフトボールに親しんだ小学生達の中から将来オリンピックで活躍する子が出ることを願い、広報活動が何らかのお役に立てられれば、と願う今年度であった。(白)